

## ふれあい記録

実施日：平成 28 年 11 月 10 日

当番者名 相川 勲・笠井欣三

コース名：独自コース 42 番 「羅漢寺山(弥三郎岳)と昇仙峡」 (通し番号 第 124 回)

天 候：曇り (時に晴れ間あり)

参加者名：相川 勲、市瀬英雄、江口正彦、小俣悦男、神谷順子、功力満紀子、柴崎幸治、  
西村寿文、根本邦子、細矢清志、宮原さち子、宮原宏至、山腰策次郎

<ビジター> 林 洋、船橋エイ子 (五十音順)

計 15 名 (内、男性 10 名 女性 5 名)

**交 通 (時刻)** <往路>：JR 中央本線竜王駅 9:05 集合であるが、4 人は早く行き 11 人は  
東神奈川駅 5:55 発⇒八王子駅 6:54 発⇒高尾駅 7:07 発⇒甲府駅 8:53 発⇒竜王駅 8:57  
着 タクシー利用 竜王駅北口 9:10 発⇒獅子平 9:30 着

<復路>：タクシー利用 天神森バス停 15:35 発⇒甲府駅 15:55 着

JR 甲府駅 16:10 発(特急かいじ 118 号)⇒八王子駅 17:14 着 17:30 発⇒東神奈川駅 18:27 着

**コースタイム**：獅子平(標高 565m)9:40 発⇒分岐(839m 地点)10:30 着⇒白山展望台  
10:45～11:00⇒白砂山 11:20～11:40⇒パノラマ台(1004m)(ロープウェイ頂上駅)11:55 着  
(12:25 まで昼食)、12:30～13:05 弥三郎岳(1058.3m)往復

ロープウェイ頂上駅 13:20 発⇒仙娥滝駅(708m)13:26 着 12:35 発⇒仙娥滝 13:45⇒(昇仙峡遊  
歩道を下る、13:55～14:05 東屋でティータイム)⇒天神森バス停 15:00 着

**みどころ**：○獅子平からパノラマ台までは甲斐市の「ふるさと自然観察路」の一部であり、  
昔は信仰の山・金峰山への参詣道でもあった。839m の尾根分岐までは石垣や炭焼き窯跡な  
ど生活の一端が残っている。

○昇仙峡側の中腹に羅漢寺があり、その上からパノラマ台あたり一帯を羅漢寺山と言う。  
羅漢寺山の一の岳が弥三郎岳で、その頂上からさえぎる物のない 360 度の眺め。

○富士川の支流・荒川の長潭橋から仙娥滝までを昇仙峡と言うが、溪流に点在する名前の  
ついた大石や覚円峰など花崗岩の絶壁、仙娥滝、紅葉など。

**自然観察**：○花崗岩の山は真っ白で、白山展望台、白砂山、弥三郎岳の他鞍掛け岩、刀の  
抜き岩など亀裂のない大岩が多く、ここからは富士山から南アルプス、八ヶ岳、金峰山、  
茅ヶ岳、眼下には荒川ダムと能泉湖など見飽きることがない。

○紅葉が遅れていると聞いていたが、カエデなど昇仙峡下流でも見ごろを迎えていた。特  
にドウダンツツジの真っ赤さは横浜では見られない鮮やかなものであった。

○獅子平からパノラマ台では直径 30～50 cm くらいの倒木が何本も道を塞いでいた。春  
にはなかったのが夏季に台風か大風でもあったのかと想像される。

○同上区間は落葉が多くいかにも秋の山歩きという感じで気持ちが良い。特に大きな朴葉  
が広い範囲に一面に落ちている様は壮観である。

**特記事項**：○竜王駅から獅子平は 2 年前までバスがあったが廃線となり、タクシーに頼ら  
ざるを得ない。また昇仙峡側もバスの本数が少なく交通が不便である。

(参考) タクシー代(4 人乗り 1 台) 竜王駅～獅子平 3160 円、天神森～甲府駅 3340 円

○自然観察で書いた眺めの良い所は手すりも草木も無いのっぺりしたところなので、滑落  
には特に気を付けた。